もりの なかでは ・・・

『ばけばけ はっぱ』 え

藤本 ともひこ／著　ハッピーオウル社　E フ

おちばのなかに どうぶつたちが かくれんぼしているよ。このどうぶつたちじつは おちばや きのみで できているんだ。みんなも どこにいるのか さがしてみてね。

『どんぐり とんぽろりん』 え

武鹿 悦子／作　柿本 幸造／絵
ひさかたチャイルド　E ブ

「ぱらぱら とんとん ぱらぱらとん」木からおちた どんぐりを くまとりすが ひろいます。たくさん たべたあとは おやすみなさい。リズミカルな ことばを たのしむ えほんです。

『やきいもするぞ』 え

おくはら ゆめ／作　ゴブリン書房　E オ

もりのどうぶつたちは やきいもがだいすき。おちばのなかに おいもをいれて やきいもするぞ エイエイオー！すると、どこからか ブォ～とおならのおとが。こうなったら おならたいかい するぞ エイエイオー！

『ナミチカのきのこがり』 え

降矢 なな／作　童心社　E フ

ナミチカは おじいちゃんといっしょに はじめての きのこがりに やってきました。いろいろな かたちのきのこに ナミチカは すっかりむちゅうです。そこに 赤いぼうしのような ふしぎなきのこが あらわれ、わになって おどりはじめました。

『ドングリ山のやまんばあさん』 よ

富安 陽子／作　大島 妙子／絵　理論社　913 ト

ドングリ山には二百九十六歳になる元気で力持ちな やまんばあさんが住んでいます。まいにち どうやって遊ぼうかと ワクワクしているので、やまんばあさんのまわりでは いつもおもしろいことがおこります。続きのお話もありますよ。

『大きな森の小さな家』 よ

ローラ・インガルス・ワイルダー／作
ガース・ウィリアムズ／画
恩地 三保子／訳　福音館書店　933 ワ

百年以上も前の北アメリカの おはなしです。大きな森の丸太づくりの家に五人の家族が住んでいます。秋は豚のソーセージづくり、冬はケーキやごちそうたっぷりの楽しいクリスマスを過ごします。

『100さいの森』 ち

松岡 達英／著　講談社　651 マ

高いビルが立ちならぶ東京の真ん中に大きな森があります。ここは100年前、人の手によってつくられました。それから動物や植物の力をかりて長い時間をかけ成長し、今も変化し続けています。

『旅をしたがる 草木の実の知恵 ゲッチョ先生の草木の実コレクション』 ち

盛口 満／文・絵　少年写真新聞社　625 モ

果物が あまくておいしいのは なぜ？トゲトゲした木の実があるのは どうして？ それは自分で動くことのできない草木が、鳥や動物たちの力をかりて種子を遠くまで運んでもらうためです。